

【基調講演】



水谷 好洋(みずたに よしひろ)

- 所属: 環境省 水・大気環境局 海洋環境課
- 役職: 海洋環境課長
- 研究・活動内容: 海洋汚染防止、海ごみ対策、ALPS 処理水に係る海域環境モニタリング等を推進。プラスチック条約交渉チームを設置し、条約採択を目指し国際議論をリード。



本多 俊一(ほんだ しゅんいち)

- 所属: 国連環境計画 (UNEP)
- 役職: プログラムオフィサー
- 研究・活動内容: 開発途上国における廃棄物管理戦略支援事業や循環経済社会に向けたリサイクル事業活動支援を実施。他にもプラスチック廃棄物の管理、ブルーエコノミーにおける資源循環等多岐にわたるプロジェクトを実施。



クリストファー・ロロ(WEB 参加)

- 所属: 国連ハビタット
- 役職: フィリピン事務所長
- 研究・活動内容: 政府機関、自治体等とともに、住宅及び都市開発の課題に取り組む。国家の都市政策策定支援や災害復興プロジェクトに従事。また、海洋汚染に関しては、「健康な海ときれいな都市イニシアチブ」を主導し、6つの協力都市で海洋ごみの国家行動計画を実施。

【SESSION1】海洋プラスチックの実態を追う～モニタリング～



磯辺 篤彦(いそべ あつひこ)【コーディネーター】

- ・所属: 九州大学
 - ・職位: 教授
 - ・研究・活動内容: 専門は海洋物理学。海洋プラスチックごみ研究の第一人者として、環境省の研究プロジェクトや、国際協力機構と科学技術振興機構の研究プロジェクトでリーダーを務める。国内では環境省・海岸漂着物対策専門家会議の座長、国外では国際科学会議・海洋科学委員会・海洋プラスチックごみ作業部会や、国連環境計画・科学諮問委員会の委員。
-



サビカ・トゥアン・アヌアル(Sabika Tuan Anuar)

- ・所属: トレンガヌ大学 (マレーシア)
 - ・職位: 准教授
 - ・研究・活動内容: 幅広いサンプルと分析対象(例えば、水、堆積物、土壌、空気中、生物、そして人間)におけるマイクロプラスチックの分析に焦点を当てた研究を行っている。
-



サパカーン・ジュンダン(Suppakarn Jandang)

- ・所属: 九州大学
 - ・職位: 助教
 - ・研究・活動内容: サンゴ礁のモニタリングと保全、海洋プラスチック汚染、沿岸生態系及び海洋生物におけるマイクロプラスチックの蓄積に重点を置いて研究を行っている。
-



貴雅仁(きやん) パルサ(Parsa Kian)

- ・所属: 九州大学
- ・職位: 学術研究員
- ・職位: 環境省の委託を受けた海洋マイクロプラスチックデータベース(AOMI)のデータアナリストとして、統計分析およびデータマイニング技術を使用して、海洋プラスチック汚染のグローバルデータベースを構築および最適化している。

【SESSION2】海洋プラスチックの生物に与える影響



大嶋 雄治(おおしま ゆうじ)【コーディネーター】

- 所属: 九州大学
 - 職位: 名誉教授
 - 研究・活動内容: 環境汚染物質(化学物質、マイクロプラスチック)による水生生物への影響評価とその対策の検討等に取り組む。
-



仲山 慶(なかやま けい)

- 所属: 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター
 - 職位: 講師
 - 研究・活動内容: メダカやコイ等の魚類を対象に、化学物質の有害性評価に係る研究を行う。
-



長門 豪(ながと ごう)

- 所属: 島根大学 生物資源科学部 環境共生科学科
- 職位: 助教
- 研究・活動内容: 大気及び海洋環境におけるプラスチックの結晶化を研究。現在は、日本海に出現している大量のパイロプラスチックの構造に関心を持っている。

【SESSION3】海洋プラスチック問題と市民社会



デオ・フローレンス・L・オンダ(Deo Florence L. Onda)【講演】

- 所属: フィリピン大学
- 職位: 教授
- 研究・活動内容: AI イノベーションによるプラスチック汚染への取組として、「Plasticount Pilipinas」プロジェクト(機械学習アルゴリズムを使用してプラスチック廃棄物を分類・数値化)に取り組む。



ティラポン・ドゥワンディー(Thiraphon Duangdee)【講演】

- 所属: カセサート大学 (タイ)
- 職位: 助教
- 研究・活動内容: カセサート大学水産学科所属。閉鎖性海域における生物濃縮などを研究。研究室は、海ごみによる海洋生物の保護を専門に研究しており、タイ内外で SNS での精力的な発信も行う。



清野 聡子(せいの さとこ)【コーディネーター】

- 所属: 九州大学
- 職位: 准教授
- 研究・活動内容: 専門は沿岸・流域環境保全学、水生生物学、生態工学。漁場の開発と保全の調整、希少生物生息地の再生、地域住民や市民の沿岸管理への参加、水関係の環境計画や法制度、漁村文化や歴史民俗学などにも造詣が深い。



千葉 知世(ちば ともよ)

- 所属: 大阪公立大学
- 職位: 准教授
- 研究・活動内容: 地下水を中心とする流域の保全管理、海洋ごみ、生物多様性の保全といった課題について、政策論やガバナンス論の視座から研究を行っている。(一社)加太・友ヶ島環境戦略研究会(KATIES)代表理事。



古澤 純一郎(ふるさわ じゅんいちろう)

- 所属: NPO 法人 海さくら
- 役職: 代表
- 研究・活動内容: 「目指せ！日本一楽しいゴミ拾い」を合言葉に、江の島にかつて生息していたタツノオトシゴが戻ってくるくらい海をキレイにすることを目標にしている。2005 年に海さくらを立ち上げ。

【SESSION4】現場(地元)からの報告



平瀬 有人(ひらせ ゆうじん)

- 所属: yHa architects
- 役職: 一級建築士、博士(建築学)、佐賀県景観アドバイザー
- 活動内容: 世界海洋プラスチックプランニングセンター(仮称)の建築デザインを担当。2007年に事務所を設立後、福岡に事務所を構え、住宅をはじめとした様々なプロジェクトに携わってきた。また、佐賀大学工学部で後進の育成にあたり、現・早稲田大学教授。



林 光邦(はやし てるくに)

- 所属: buoy(株)
- 役職: 代表取締役
- 活動内容: 日本で唯一、海洋プラスチックほぼ100%の製品を作る技術(特許取得済)を持つ会社。プラスチックを生産する会社の責任感から、海洋ごみを原料とした工芸品の制作販売等をしている。



袈裟丸 彰蔵(けさまる しょうぞう)

- 所属: 袈裟丸マリン合同会社
- 役職: 代表、漁師
- 活動内容: 海士として毎日海に潜る中で、岩礁の海藻が消失する「磯焼け」が広がっていることに危機感をもち、2000年頃から藻場の保全活動を行っている。磯焼けの原因となっているガンガゼなどの食害生物の駆除や、藻場の手入れを通して海を守っている。



藏田(くらた)、山内(やまうち)、徐(じょ)、山本(やまもと)、菅原(すがはら) ※すべて高校1年生

- 所属: 早稲田佐賀高等学校 サスティナ部
- 活動内容: 『楽しみながら Sustainable(サスティナブル)な活動を!』をモットーに、SDGs活動に取り組むサークル活動。ペットボトルキャップや残反のアップサイクル活動や海洋ごみ問題解決に向けた活動に取り組んでいる。



山口 祥義

- 所属: 佐賀県
- 役職: 知事